

# 上越市における人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定イメージ

## 上越市まち・ひと・しごと創生長期ビジョン (人口ビジョン)

### 1 人口の現状と将来見通し

- ◆市の総人口は、昭和22年をピークに長期的に減少傾向
- ◆市全体での人口減少と高齢化、少子化が同時進行
- ◆人口の自然減と社会減が同時進行

#### 《主なデータ》

- 現状  
【平成22年】約20万4千人  
高齢者:26.5% 年少者:13.7%
- 将来推計人口と年齢構成  
【平成37年】約18万2千人  
高齢者:34.0% 年少者:11.3%  
【平成52年】約15万6千人  
高齢者:37.8% 年少者:10.6%

#### ○人口動態の現状と見通し

- 【平成26年】△1,702人/年
  - ①自然増減:△1,001人/年  
・死亡:2,419人/年  
・出生:1,418人/年
- 今後は、高齢化による死亡数の増加、出産適齢期の女性数の減少が見込まれ、出生率が向上したとしても出生数の劇的な増加は困難

自然減は不可避

#### (参考)

- 合計特殊出生率  
【平成25年】  
上越市:1.68  
新潟県:1.44  
全国:1.43

#### ②社会増減:△701人/年

- ・転出:4,943人/年
  - ・転入:4,242人/年
- 若者の進学のための転出は不可避

#### (参考)

- 上越市の高校卒業者の進路  
【平成25年】卒業者:1,700人  
・大学・短大等:654人  
・専修学校:498人  
・就職者:491人  
・その他:57人

- 市内高校生の地元就職率  
【平成25年】78.6%

### 2 人口問題に対する基本認識

#### 2-1 人口減少の背景

- ◆人口減少は、様々な要素が重なり合って生じている
- 自然減  
・結婚や出産、子育てなどに対する個人の価値観やライフスタイル、社会経済情勢の変化 など
- 社会減  
・地域の産業、雇用、教育、福祉等まちの社会経済基盤や暮らしやすさ、社会経済情勢の変化 など

#### 《主なデータ》

- 婚姻・離婚件数  
【平成17年】  
婚姻:1,026件/年 離婚:313件/年  
【平成25年】  
婚姻:837件/年 離婚:282件/年
- 有効求人倍率  
平成21年:0.33 平成25年:0.86
- 正社員割合  
平成8年:78%  
平成13年:74%  
平成18年:69%  
平成24年:62%

#### 2-2 人口の変化が地域の将来に与える影響

- ◆人口減少は、市民生活や地域経済、行財政運営の様々な場面において、大きな影響を及ぼす問題
- (例) ・労働力や購買力の減少など  
・地域の活力の減退  
・税収の減少  
・社会保障経費の増加 など

#### 2-3 人口減少問題のとりえ方

- ◆人口減少の劇的な改善は困難
- ◆今後加速度的に進む人口減少

地方創生の取組が必要

### 3 まちの将来展望

#### 3-1 「地方創生」により目指すまちの姿

- ◆人口減少を前提としつつ、人口減少傾向を緩和し、持続可能なまちづくりを目指す  
・まちの魅力を高め減少傾向を緩和するとともに人口減少に伴うマイナス影響を緩和・解消する  
・国立社会保障・人口問題研究所における将来推計人口を下回らない状態を目指す
- ◆地方創生で目指すまちの姿は、第6次総合計画の将来都市像と重なる部分が多い  
・若者・子育て世代にとって、「選ばれるまち」「住み続けたいまち」を目指す
- ◆上越市における地方創生の取組では、「若者が家庭を築き、心豊かな家族生活を営めるまち」としての魅力を重点的に高めていく

#### 3-2 上越市における「地方創生」の基本方針

- ◆地域を挙げて総合的に取り組む  
・様々な要素が折り重なって生じている人口減少には総合的な政策・施策の展開が肝要  
・地方創生による「まち・ひと・しごと」の好循環を形成することは、第6次総合計画の将来都市像の実現に必要な条件の一つ  
・複合的な課題に対応するため、市政全体、さらには市民・事業者等も含めた分野横断的な取組が有効

キーワードは

### 「チャレンジ」と「つながり」

#### 《チャレンジ》

- まちの活力を高め、まちの輝きを強くするための「チャレンジ」を生み出す  
・まちづくり、しごとづくり、ものづくりなどの意欲的な取組を生み出し、まちの活力と魅力を高める

#### 《つながり》

- 多様な「つながり」を創出する  
・様々な「つながり」を再構築するとともに、新たに生み出すことでまちの暮らしやすさと魅力を高める

## 上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (地方版総合戦略)

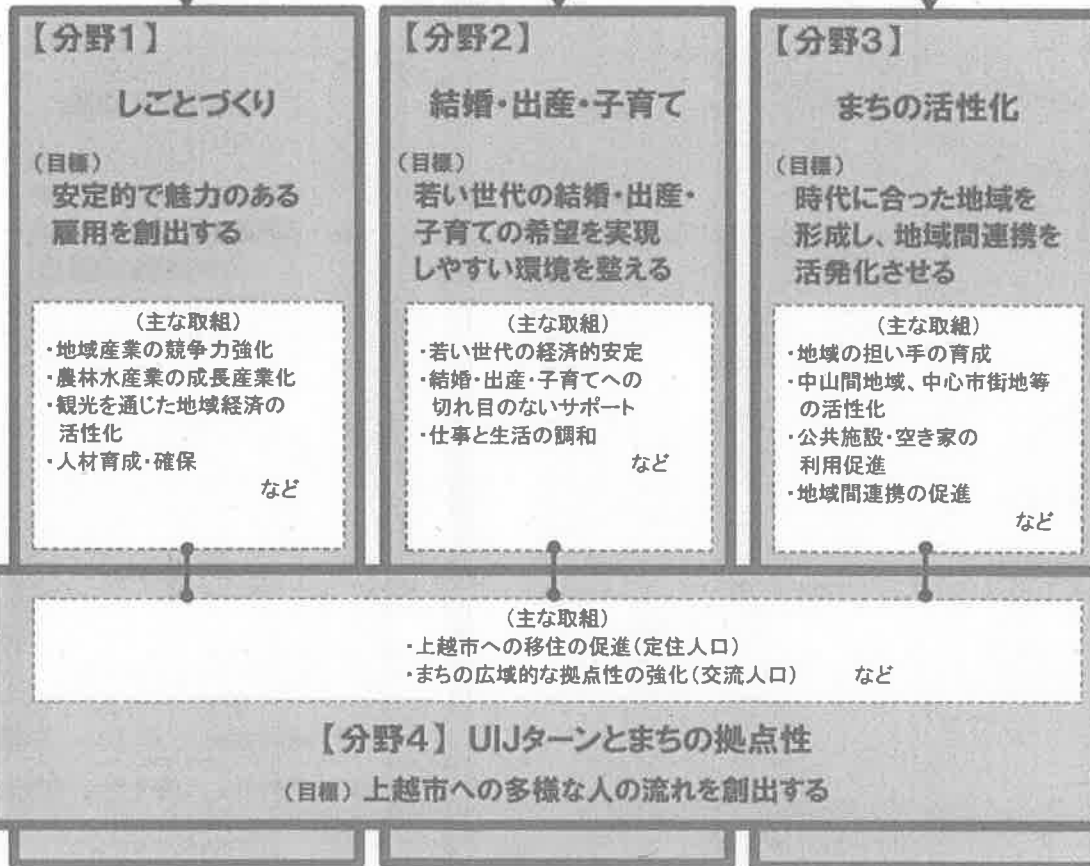
### 1 戦略の位置付け

- 長期ビジョンを受けて、平成27年度～31年度までの5年間で実施する取組と目標を示す

### 2 地方創生に向けた取組

- 国の総合戦略の目標と四つの政策パッケージを踏まえ、上越市における地方創生に向けた取組をまとめる
- 「しごと」「結婚・出産・子育て」「まちの活性化」「U/Iターンと交流」の四つの分野で「産・学・金・労・官・民」の取組を位置付ける
- 各分野ごとに目標、取組方向、具体的な施策、KPI、施策を構成する事業、各主体の役割・関係性等をとりまとめる

上越市の「まちの力」を最大限に発揮させていくことができるように  
地域の特色や資源を生かした取組を以下の四分野で進める

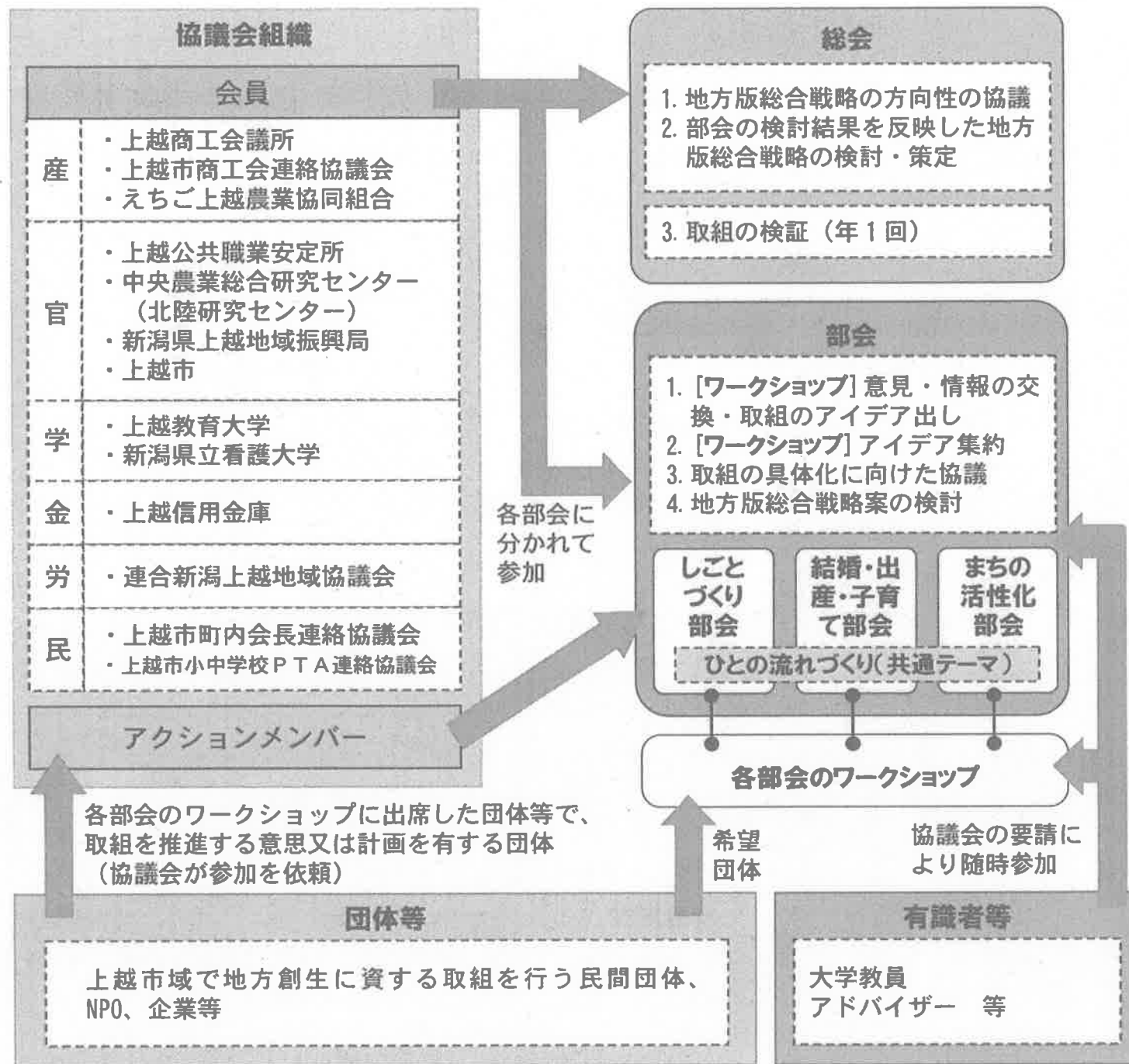


※分野4は、分野1～3の結果として達成される目標として位置付け、それぞれ関連する取組を再掲する

### 3 戦略の推進に当たって

- 「上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会」におけるPDCAサイクルでの進捗管理

上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会の  
組織運営のイメージ



会議の開催予定

時期	会議内容	参加者			地方版総合戦略の策定の流れ
		会員(設立メンバー)	公募	有識者	
5月29日	<b>総会1</b> ・挨拶 ・人口ビジョンと地方版総合戦略の方向性の検討 ・全体の進行確認、部会座長の選出 ・意見交換	○			総合戦略の方向性の検討
—	【以下、部会は3部会ごとに各4回開催】		募集		
6月(下旬)	<b>部会1 (ワークショップ1)</b> ・ミニ講演 [有識者] (地方創生の視点、情報提供) ・意見交換 (取組状況・課題、アイデア) ・総評 [有識者]	○	○	○	取組をともに考える ・上越市ならではの取組 ・有識者の助言
7月	<b>部会2 (ワークショップ2)</b> ・若者等アンケート結果(速報)の報告(その他内容は、部会1と同様) ※閉会后、設立メンバーでアクションメンバーの候補を検討し、参加依頼	○	○	○	取組を具体化
8月	<b>部会3</b> ・各団体で検討した取組の説明 ・若者等アンケート結果の報告 ・意見交換	○	○	○	取組をまとめる
9月	<b>部会4</b> ・人口ビジョンと地方版総合戦略(案)の検討 ・意見交換	○	○	○	総合戦略の策定
10月	<b>総会2</b> ・挨拶 ・人口ビジョンと地方版総合戦略の策定の今後の進捗管理 ・意見交換	○	協議会が参加依頼する団体		総合戦略の見直し(必要な場合)
28年3月	<b>総会3 (検証)</b> ・平成27年度取組の検証 ・平成28年度取組の確認 ・意見交換	○	協議会が参加依頼する団体		